

## Nagasaki Peace-preneur Forum 後記

### ナガサキ・ユース代表団第6期生 原田 怜奈

ナガサキ・ユース代表団6期を務めました原田怜奈です。

現在は東京で会社員として働いていますが、世界中の活動家や若者が集まるフォーラムが長崎で開催されると聞き、参加を決めました。

このフォーラムは、様々なバックグラウンドを持つ人と意見を交わすプロセス自体が、とても意義あるものだと思います。これからも長崎から世界を変えるアイデアをどんどん生み出していきたいです！

### ナガサキ・ユース代表団第9期生 藤田 裕佳

こんにちは！ユース9期生として活動しておりました、藤田裕佳です。

私は現在、一橋大学国際・公共政策大学院で、核軍縮政策を通じた国際規範の形成について研究しております。また国際NGO Reverse The Trend Japanの代表として、地道に平和活動を継続しているところです。今回のフォーラムでは、世界中から集まったリーダーたちと共に核兵器廃絶への思いを新たにできたと思っています。

### ナガサキ・ユース代表団第10期生 福永 楓

今回、同じ世代の若者と膝を突き合わせて話すことの重要性に気づかされました。同じ世代の若者との交流により、国際会議での要人等との対話では得られなかった「つながりあえた」感覚があったからです。私のグループは、たまたま全員長崎在住で、長崎ならではの意見が飛び交い、最終的に「核なき世界の実現」という長崎の想いとSNSの活用を結び付けたアイデアが思いのほか高評価で、今後のモチベーションにつながりました。

### ナガサキ・ユース代表団11・12期生 平林千奈満

「平和」をキーワードに知識や価値観を広げるとともに、世界中の参加者の皆さんとのネットワークをつくることができ、実りの多い4日間を過ごすことができました。なかでも、中満泉国連事務次長の基調講演では、相手の立場を理解し、自分とは異なる視点を取り入れるために「対話」を重ねることの重要性を学ぶことができました。また、同世代のリーダーとのディスカッションを通して、一人一人がそれぞれの地で自分にできるアクションを起こすことが、世界各国で積み重なり、大きな変化を生むのだと実感することができました。加えて、最終日のフィールドワークでは、初めて長崎に来られた世界の方々から「長崎が被爆地であることは知っていたが、実際に被爆の実相を見ることで、79年前を感じる事ができた」「平和の文化が根付いている長崎に来てよかった」との言葉をいただき、被爆地長崎から発信し続けることの大切さにも改めて気づくことができました。ここで得た学びを生かして、ナガサキ・ユース代表団として被爆地長崎から活動を一層充実させます。